

ロタウイルスワクチン（ロタリックス®）

- ・ロタウイルス胃腸炎の重症化を防ぐワクチンです
- ・生ワクチンで口から飲むタイプ（甘いシロップ）の経口ワクチンです
- ・乳児早期（生後 6 週から 24 週）に 2 回接種します

■ロタウイルス胃腸炎とは

ロタウイルス感染症は、小児の重症下痢症の原因として最も頻度が多く、毎年、冬から春にかけて流行がみられます。大部分の小児が 5 歳までに 1 回は感染します。主な症状は、発熱、嘔吐、下痢などの胃腸炎症状が多くみられますが、他にも脳炎など重い合併症があります。生後 3 か月以降に初めて感染したときに重症化し、何度か感染すると軽くなるとされています。入院が必要となる重症ロタウイルス胃腸炎を起こすのは、生後 6～23 カ月の乳幼児が中心です。

■ワクチンの効果について

ロタウイルスワクチンは、ロタウイルスによる嘔吐下痢症を軽くしたりして、入院が必要になるほどの重症例を約 90%減らします。また脳炎などの重い合併症も防ぎます。

安全性は世界中で多くの調査が行われており、極めて高いものです。そのために WHO は 2009 年 6 月に、ロタウイルスワクチンを子どもの最重要ワクチンの一つに指定しました。そして世界中の全ての子どもが使用するよう指示しました。

■接種方法

当院では下記の理由より以下の接種時期で行います。

接種は生後 6 週 0 日から 24 週 0 日までに 4 週間以上あけて 2 回接種する

・1 回目：生後 6 週 0 日より 14 週 6 日までに接種

・2 回目：1 回目接種から 4 週間以上あけて 24 週 0 日までに接種

国内では、生後 6 週から 24 週までに 4 週間以上あけて 2 回接種することになっていますが、初回接種の時期が明示されていません。欧米では、重症ロタウイルス感染症に対するワクチンの有効性や腸重積症（腸閉塞の一種）の発症リスクを高めないなどの安全性を考慮して、初回接種を生後 6 週～14 週としています。国内治験でも生後 6 週～14 週の接種で、ワクチンの有効性と安全性が確認されています。このことから当院では、初回接種は生後 6 週から 14 週まで、2 回目接種は初回接種から 4 週間以上あけて遅くとも 24 週までとしました。今後、それ以降の年齢にも安全性が確認されしだい初回接種時期を広げていく予定です。

■接種料金：1 回 12,900 円 + 税

■申込み方法

接種希望者は、次ページ「ロタウイルス胃腸炎予防ワクチン（ロタリックス内服液）の接種を希望の方へ」を読んで直接受付にお申込みください。

電話：045-849-4141